

C O S T A G G R E G A T I O N

Tally

使 用 マ ニ ュ ア ル

基本操作・主要機能・データ出力

Version 1.1



SlideUp

現場を、滑らかに。

画面構成

SCREEN OVERVIEW



TABS

タブ構成

- ・ 1 原価入力
- ・ 2 履歴
- ・ 3 集計
- ・ 4 プロジェクト
- ・ 設定
- ・ ? 使い方

WORKFLOW

操作フロー

- 1 プロジェクトを作成
- 2 工数を入力
- 3 集計を確認
- 4 データ出力

STEP 1

CREATE PROJECT

プロジェクトを作成

手順 | PROCEDURE

1

「プロジェクト」タブを開く

2

「+ 新規プロジェクト」をクリック

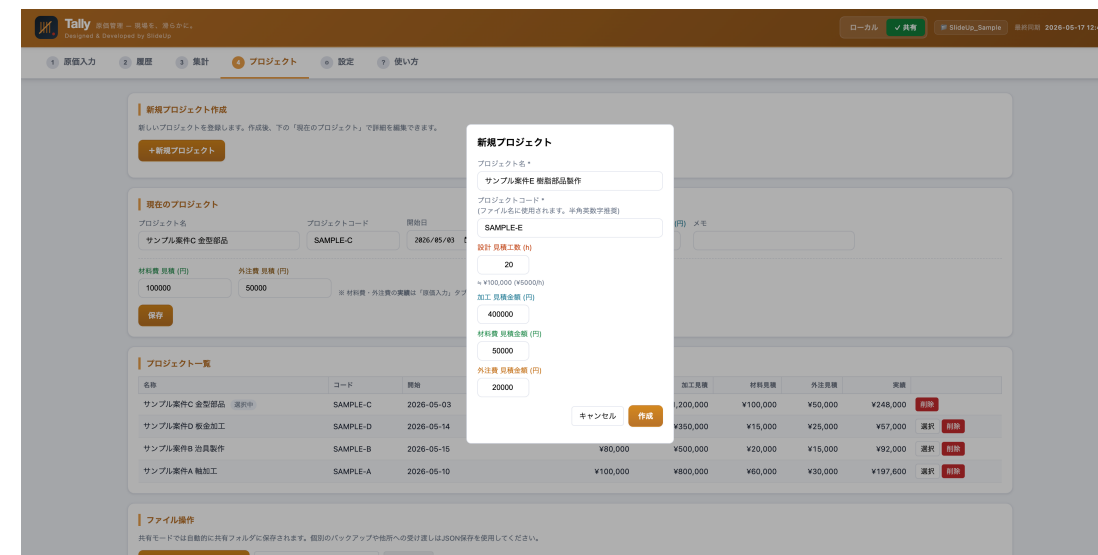
3

プロジェクトコード・名称・見積を入力（開始日は自動設定・後から変更可）

4

作成 → プロジェクトが選択可能になる

プロジェクトコード単位で JSON ファイルが作成される



プロジェクトを作成

データ出力

💡 プロジェクトコードは社内の管理コード (例: 顧客名_品番) と揃えると後工程で照合しやすくなります。

STEP 2

LOG WORK HOURS

工数を入力

手順 | PROCEDURE

1

「原価入力」タブを開く

2

プロジェクトを選択 → 日付・機種・メンバーを選ぶ

3

作業時間 (時間) を入力 → 登録ボタン

4

「材料費 / 外注費」ボタンで項目別に金額計上も可

区分別に集計に反映される

プロジェクトを作成

データ出力

💡 機種別レートは「設定」タブで事前登録。レート × 時間で人件費が自動計算されます。

STEP 3

REVIEW AGGREGATES

集計を確認

手順 | PROCEDURE

1

「集計」タブを開く

2

プロジェクトを選択

集計はプロジェクト単位で表示

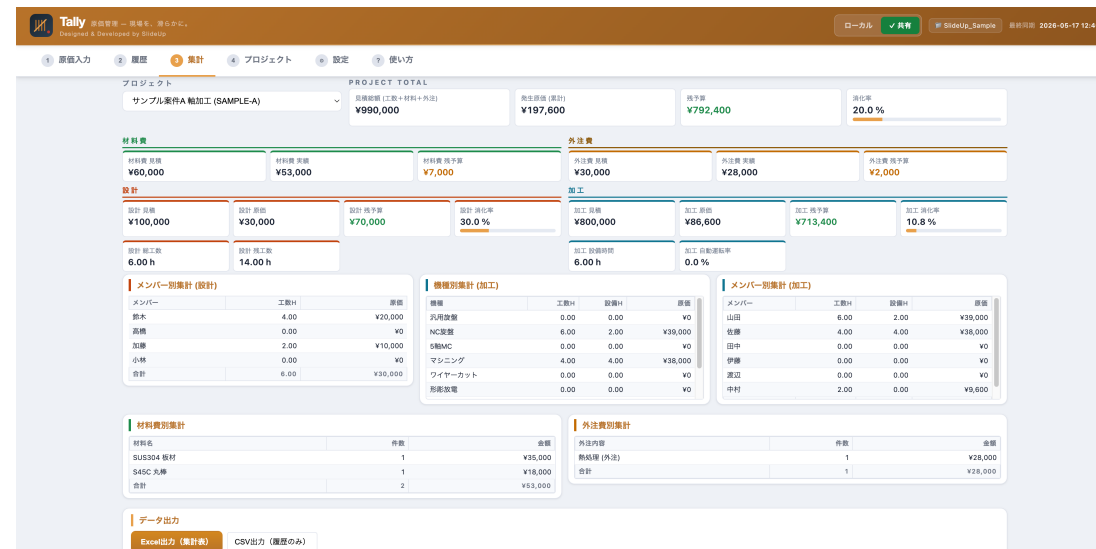
3

総原価 / 内訳 (人件費・材料費・外注費) を確認

4

機種別・メンバー別の内訳を切替表示

原価の偏りを発見しやすくなる



プロジェクトを作成

データ出力

💡 赤字が出ているプロジェクトはここで早期検知。集計値は入力直後にリアルタイム更新されます。

STEP 4

DATA OUTPUT

データ出力

手順 | PROCEDURE

1

集計タブ「Excel出力（集計表）」 → 集計・機種別・メンバー別シートを Excel 化

2

集計タブ「CSV出力（履歴のみ）」 → 履歴データの書出し

3

プロジェクトタブ「全プロジェクト JSON 保存」 → 設定 + 全プロジェクト + 全エントリのバックアップ

4

設定タブ「設定をJSONで書出し / 読込」
設定のみ（機種・メンバー・レート）のバックアップ

名称	コード	開始	終了	設計費	加工費	材料費	外注費	実績	選択	削除
サンプル案件C 金型部品	SAMPLE-C	2026-05-03	2026-05-14	¥150,000	¥1,200,000	¥100,000	¥50,000	¥248,000	選択	削除
サンプル案件D 板金加工	SAMPLE-D	2026-05-14		¥50,000	¥350,000	¥15,000	¥25,000	¥37,000	選択	削除
サンプル案件B 治具製作	SAMPLE-B	2026-05-15		¥80,000	¥500,000	¥20,000	¥15,000	¥192,000	選択	削除
サンプル案件A 靴加工	SAMPLE-A	2026-05-10		¥100,000	¥800,000	¥60,000	¥30,000	¥197,000	選択	削除

プロジェクトを作成

データ出力

💡 Excel 書出しは集計値の二次加工 (グラフ作成・原価率計算) に便利です。

ヒント・運用 Tips

TIPS & TRICKS

プロジェクトコード

命名規則を統一すると検索が高速化

設定 → 機種・レート

機種ごとの単価設定 (時間あたり)

設定 → メンバー

メンバーの登録 (加工・設計それぞれの名前リスト)

「材料費」 ボタン

材料費を都度計上 (項目別)

「外注費」 ボタン

外注費を都度計上 (発注先別)

⚠ ローカルは要バックアップ

ブラウザのデータ削除/別PC移行で消失。月1回 JSON書出し or 共有モード推奨

機能リファレンス

FUNCTION REFERENCE

INPUT

入力機能

- 1 プロジェクト別工数入力
- 2 材料費の都度計上
- 3 外注費の都度計上

AGGREGATE

集計機能

- 1 総原価とリアルタイム内訳
- 2 機種別・メンバー別の内訳
- 3 見積と実績の対比（残予算の把握）

OUTPUT

出力機能

- 1 Excel 出力 (プロジェクト別)
- 2 履歴の CSV 出力
- 3 JSON 書出し (バックアップ)